

令和 7 年度

「運営に関する計画」

期初

大阪市立三先小学校

令和 7 年 4 月

学校教育目標 子どもの笑顔があふれる学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

令和7年度は、全学級12学級、特別支援学級5学級・通級学級1学級でスタートした。本校児童は、明るく朗らかに日々学習や運動に取り組み、友達や異学年の児童にも温かく寄り添うことができる児童が多い。指導者の指示により行動することができる一方、自ら考え、主体的に行動することに不安や意識の不足がみられる場面が少くない。一人一人の児童が自分の考えをもち、表現し、互いを認め合って過ごすことができる学校づくりに教職員が一丸となる。学校教育目標の「子どもの笑顔があふれる学校」の実現に向け、育みたい子どもの像を「・自分も人も大切にする子・考え方をもつ子・表現し高め合う子・主体的に行動する子」として教育にあたる。

【安全・安心な教育の推進】

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上とする。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、前年度より0.01ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、前年度より0.01ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は45%以上にする。

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
【R6:79.8% (市81.5%)】
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
【R6:0.6%】
- ・令和7年度末の校内アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「よく当てはまる(当てはまる)」と回答する割合90%以上を維持する。
【R6:96%】
- ・令和7年度末の校内アンケートにおいて、「学校に行くのが楽しい」と回答する割合90%以上にする。
【R6:中間91% 期末92%】
- ・令和7年度末の校内アンケートにおいて、「自分には、良いところがある」と回答する割合85%以上にする。
【R6:中間85% 期末83%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 45%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 70%以上を維持する。
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上を維持する。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の 8 割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。
- ・教員の児童の ICT 活用を指導する能力に対する肯定的な回答の割合を 85%以上にする。
- ・年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 90%以上にする。

3 令和 7 年度の自己評価結果の総括

大阪市立三先小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。 ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 【R6:0.6%】 ・令和7年度末の校内アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「よく当てはまる(当てはまる)」と回答する割合を90%以上を維持する。 【R6:96%】 ・令和7年度末の校内アンケートにおいて、「学校に行くのが楽しい」と回答する割合90%以上にする。 【R6:中間91% 期末92%】 ・令和7年度末の校内アンケートにおいて、「自分には、良いところがある」と回答する割合85%以上にする。 【R6:中間85% 期末83%】 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1、いじめへの対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめについて考える日に学級で指導するだけでなく、年間を通し、機会を設けて児童にいじめがいけない事だと指導をしていく。 ・日常の言葉遣いを振り返る「言葉についての振り返り週間」を設け、普段つかう自分の言葉を振り返る機会を設ける。（生活指導） <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートにおける「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う。」の項目について、肯定的な意見を85%以上にする。 ・児童の振り返る場面を増やすため、学期に一度アンケートを実施する。 	
<p>取組内容②【2、人権を尊重する教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権意識を高め、相互理解を育むために発達段階に応じた教材の開発に努め、系統性のある授業を計画し実践する。（人権教育） <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度末の児童アンケートで「困っている友だちに声をかけたり、助けたりしている。」「自分も周りにいる友だちも大切にしている。」の項目において、肯定的な回答をいずれの学年も各80%以上にする。 	
<p>取組内容③【2、人権を尊重する教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たてわり班活動や日々のあいさつを通して、人のつながりをつくるとともに、支え合いを深める活動に取り組む。（児童会活動） <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度末の児童アンケートで「みんなで協力してたてわり班活動をすることができている。」「自分からあいさつしている。」の項目で肯定的な回答を90%以上にする。 	
<p>取組内容④【2、インクルーシブ教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導・支援計画を活用し、児童理解を深め、教職員全体で連携し合い、指導の充実を図る。 ・令和7年度の通級指導の実施にあたり、年間計画の作成や学びの場の充実など指導体制の構築を図る。また、教職員全体に研修を行い、発達障がいなどのある児童の 	

学びの場の充実に向けて共通理解を図る。（ インクルーシブ教育 ）	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 巡回指導や特別支援研修会を年2回以上行い、教職員全体で連携し、指導の充実を図る。 低中高学年部会で学期に1回以上、個別の指導・支援計画を活用しながら支援の手立てについて共通理解を行う。 	
取組内容⑤【規律心の向上】 <ul style="list-style-type: none"> 時間を守って行動できるようにする。（ 生活指導 ） 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度末の児童アンケートにおいて「時刻を守って行動している。」の項目において、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。 	
取組内容⑥【1、防災・減災教育の推進、安全教育の推進】 <ul style="list-style-type: none"> 災害発生時に「自ら判断し、安全に避難・行動できる力」を育むため、発達段階に応じた防災指導を計画的に行う。 地域や関係機関と連携し「自助・共助」の視点を含んだ防災教育を推進する。 （ 防災・減災教育 ） 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度末の児童アンケートにおいて「災害がおきたときに、どのように行動すればよいかを知っている。」の項目において、肯定的な回答をする児童の割合を95%以上にする。 	
取組内容⑦【1、防災・減災教育の推進、安全教育の推進】 <ul style="list-style-type: none"> 児童の発達段階に応じて防災・防犯指導を系統的に行い、「自ら判断し、安全に行動できる力」を育む。 避難訓練やロールプレイ等を取り入れ、「もしも」の場面でも冷静に対応できる実践的な力を養う。（ 防犯教育 ） 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度末の児童アンケートにおいて「不審者が学校に侵入したとき、どのように行動すればよいか知っている。」の項目において、肯定的な回答をする児童の割合を95%以上にする。 	
取組内容⑧【2、キャリア教育の充実】 <ul style="list-style-type: none"> 系統立てた学習を進めるため、低中高学年それぞれの目標を中心に学習を進める。（ キャリア教育 ） 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度末の児童アンケートにおいて、「人の役に立つ人間になりたいと思う。」の項目において、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立三先小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】	
・小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。 【R6: 4年:国0.07P↓,算0.08P↓, 5年:国0.01P↓,算0.03P↑, 6年:国0.04P↓,算0.0P】 ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を45%以上にする。 【R6:38.5% (市:40.4%)】 ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合70%以上にする。 【R6:73.9% (市68.9%)】 ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 【R6:73.9% (市68.9%)】	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【5、体力・運動能力向上のための取組の推進】 ・教科・行事・たてわり班活動・休み時間等、教育活動全体を通して、児童の体づくり・体力向上に取り組む。（ 体づくり・体力の向上 ） 指標 ・令和7年度末の児童アンケートにおいて、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きである。」に対して、最も肯定的な回答する児童の割合を70%以上を維持する。	
取組内容②【5、健康教育・食育の推進】 ・給食の前、休み時間や掃除の後に「手洗い・うがい」をし、新しい生活様式への対応を推進する。（ 保健 ） 指標 ・令和7年度末の児童アンケートにおいて、「給食の前、休み時間や掃除の後に手洗い、うがいをしている。」の項目で肯定的回答を90%以上にする。 ・栄養教育推進事業を活用し、全学年2回／年、栄養教諭による食に関する指導を行う。	
取組内容③【4、「主体的・対話的で深い学び」の推進】 ・児童が主体的に考え、自ら表現する力を付けることができるよう、各教科・領域の横断的なカリキュラムのもと、児童が協働的に学ぶ場を設定した授業づくりをする。 ・総合的読解力の時間を確実に実施し、読解力の向上を図る。（ 学力向上 ） 指標 ・令和7年度末の児童アンケートの「学習中、友だちとの話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている。」の項目で、最も肯定的な「思う」と	

<p>回答する児童の割合を45%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度末の児童アンケートの「総合的読解力の時間の学習を通して、資料や情報を読み取って要約したり、自分の考えを整理して表現をしたりする方法を理解することができた。」の項目で、肯定的な回答をする児童の割合を60%以上にする。 	
取組内容④【4、英語教育の強化】 <ul style="list-style-type: none"> 週3回のイングリッシュ・タイムと年間時数に沿った外国語科・外国語活動を計画的に実施し学習の充実を図る。 (英語教育) 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度末の児童アンケートにおいて、「外国語(英語)を使ったコミュニケーションは楽しい。」の項目で、肯定的な回答をする児童の割合を70%以上にする。 	
取組内容⑤【8、生涯学習の支援】 <ul style="list-style-type: none"> 司書と連携して引き続き学年の本棚を整理し、学習に関連した読書活動の推進を図る。 (学校図書館) 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度末の児童アンケートで、「本を読むことが好き。」の項目において、肯定的な回答を80%以上にする。 	
取組内容⑥【7、教員の資質向上・人材育成】 <ul style="list-style-type: none"> 日々の授業にすぐに生かすことができるような研修を立案・計画をし、実施することで教員の指導力向上をめざす。 (教員の指導力向上と校内研修の支援) 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 授業を行う全教員が指導力を向上できるように、1人1授業を行う。 「教科・領域の指導法」「ICTを生かした指導法」を中心とした研修会をする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立三先小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。 【R6:25%】 教員の児童・生徒のICT活用を指導する能力に対する肯定的な回答の割合を85%以上にする。 【R6:100%】 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。 【R6:100%】 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6、ICTを活用した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報モラル教育年間指導計画に沿って、系統立てて指導する。 プログラミング学習年間指導計画に沿って、指導する。 <p style="text-align: right;">(情報教育)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報モラル教育を身につけられる教材（独自教材）を用意し、指導後のアンケート内の「情報モラルの理解が深まった」という項目において肯定的な回答を90%以上にする。 プログラミング学習年間指導計画に沿って指導ができているか経過観察を行う。 	
<p>取組内容②【6、データ等の根拠に基づく施策の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「心の天気」等のデータを活用し、いじめ・不登校の未然防止・早期発見に努める。 <p style="text-align: right;">(保健)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日2回心の天気を入力できているか学年間で確認することで、授業日において児童の8割以上が学習者端末を活用した日数を、年間授業日の50%以上にする。 1日1回教務主任や養護教諭が、学校管理者ページから相談内容を確認する。 	
<p>取組内容③【7、働き方改革の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務を協働的に進めることで、過密や偏りを少なくし、効率化を図り勤務時間の短縮や、健康維持への意識を高める。 <p style="text-align: right;">(福利厚生)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 月1回校務分掌部会を、話し合う内容を設定することで活性化し、特定の教員が業務を抱え込まないように工夫するようとする。また、参加する教員が重ならないよう時間を調整するなどの配慮をする。 	
<p>取組内容④【施策6、ICTを活用した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修等を通して、協同学習支援ツールを活用した授業改善を図る。 <p style="text-align: right;">(情報教育)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務内でもGoogle Classroomを活用することで、教員の児童のICT活用を指導する能力に対する肯定的な回答の割合を85%以上にする。 上記の指標に伴ったICT研修を年1回以上実施する。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点